

2025年度 清水庁舎の整備方針（案） パブリックコメント概要

1. パブリックコメント実施概要

実施期間 令和7年11月4日（火）から令和7年12月5日（金）まで
周知方法 【配架・閲覧】 管財課窓口、各区市政情報コーナー、生涯学習交流館
生涯学習センター、市民活動センター、女性会館
【説明会等】 市民説明会
【その他】 静岡市HP
実施主旨 市でまとめた「2025年度 清水庁舎の整備方針（案）」について広く市民の意見を募集し、頂いた意見を踏まえ、より良いものとするため。

2. パブリックコメント実施結果

意見提出人数 56人 意見提出件数 171件
参考：令和4年度 清水庁舎整備の方向（現清水庁舎の改修）（案）策定時
意見提出人数157人、意見提出件数380件

<住所内訳>

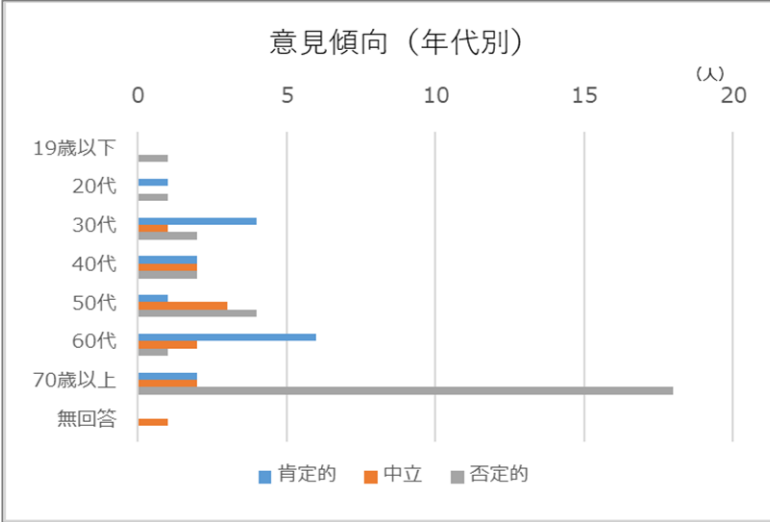
葵区：4人 清水区：47人
駿河区：4人 市外：1人

<年代別内訳>

19歳以下：1人 50代：8人
20代：2人 60代：9人
30代：7人 70歳以上：22人
40代：6人 無回答：1人

<意見傾向>

肯定的：16人、否定的：29人、中立：11人



3. 清水庁舎の整備方針（案）へのご意見抜粋（詳細意見は参考資料のとおり）

質問 1

「2025年度 清水庁舎の整備方針（案）」では、『清水庁舎を清水駅東口公園(元清水駅東口広場)へ移転新築する』としています。この整備方針につきまして、あなたのご意見をお書きください。

■ 移転場所について

- ・これからの開発が見込まれる地区であり、駅近で利便性も高く適切な選択であると思う。
- ・駅に近く便利だが災害が心配です。
- ・なるべく海から離れた場所に作ってください。

■ 整備方法について

- ・妥当だと思います。清水は港街です。庁舎の移転により津波に強いまちづくりがさらに進むことを望みます。

- ・新築には賛成、清水駅東口公園への移転は反対。

- ・「地震による建物の崩壊に至る可能性は低い」ということであるならば、ニュースで流れていた千年に一度の災害にわざわざお金を掛けて移転新築する必要はない。「A案:改修」で十分と思う。

■ 地震・津波について

- ・清水区の中心街から津波から避難出来るビルが減少しています。逆に地域住民の為に、あえて自治体がこのような避難ビルを兼ねた庁舎を作る事が必要ではないでしょうか。
- ・東日本大震災以後、津波浸水想定区域に行政庁舎を建設することは、理解されない。

質問 2

清水庁舎の移転新築にあたり、求める機能や要望等がありましたら、こちらにお書きください。

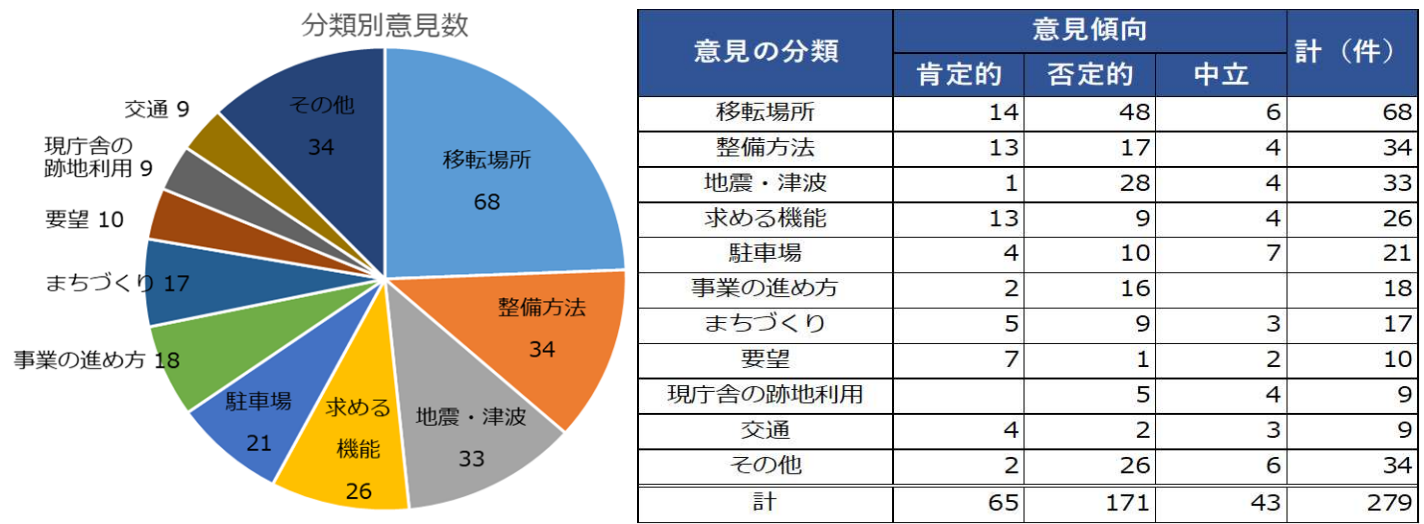
行政サービス関連	まちづくり関連
（交通） ・広い駐車場 ・渋滞しない道路の整備 （窓口） ・区役所機能の集約 （デジタル） ・どこにいても行政サービスが受けられる	（外観・内観） ・さくらもこさんのイラスト利用 ・明るく開放的で気軽に訪れる場所 ・海洋文化都市の核としてふさわしい景観 （市民利用） ・ホール ・身体障害者のふれあいの場 ・図書館 ・学生の居場所 ・子どもが遊べるオープンスペース（常時開） （カフェ・休憩スペース等） ・喫茶、飲食店 ・コンビニ ・マルシェ （観光・情報発信等） ・イベントができる公園、広場 ・外国人観光客の増加に対応できる機能 （民間機能） ・民間企業・施設の誘致 ・ホテル

質問 3

その他（自由記載）

地震・津波対策や事業の進め方等様々な意見をいただいた。 意見数：54件

参考：清水庁舎の整備方針（案）へのご意見の分類及び件数



4. パブリックコメント等のご意見を受けた市の対応

■ 「整備方針（移転新築）」への対応

頂いたご意見を踏まえ、現庁舎の取扱いについては「現庁舎は耐震改修や大幅な設備改修を行わず、必要な部分改修を行ったうえで、利用方法や用途について行政利用に加え民間活用も検討し利活用する。」として、「2025年度 清水庁舎の整備方針」に反映します。
また、市民説明会や来庁者アンケートでいただいたご意見についても「2025年度 新清水庁舎建設基本計画」に反映します。

■ 求める機能や要望への対応

市民の皆さんからご要望やご不安が多かった新庁舎用の駐車場については、新たにJR清水駅西口に新庁舎と一体整備する形で事業を進めます。駅西口駐車場はJR清水駅にペデストリアンデッキで直結させ、東口に建設する新庁舎まで駅を通じて円滑な移動が可能です。また、ご意見が多かったイベント広場についても、工事期間中からその機能を地区全体で確保しながら事業を進めていく予定です。
津波浸水想定区域への庁舎建設については、災害時の被害想定を正しく理解し対策を講じることが重要であり、津波浸水想定区域に庁舎があることが直ちに防災上の問題とはならないものと考えております。新庁舎は耐震性能・対津波性能・業務継続性能を十分に備えるよう設計に反映し対応します。
その他頂いた求める民間機能・行政機能については「2025年度 新清水庁舎建設基本計画」に反映して整備を進めてまいります。